

こんにちは！！カンボジアから

Hello!! -letter from Mamiko Tanaka-

# ស្ទួស្ទួ!! -សំបុត្រពីម៉មីកូ តានាកា-

「スオッスダイ！！ ソンボット ピー マミコ タナカ」



## 任国外旅行:お隣の国ラオス

幼稚園の夏休み期間を利用し、任国外旅行でラオスへ遊びに行ってきました。ラオスはカンボジアより遅れているイメージだったのですが、そのイメージは覆されました。水も電気もカンボジアより安定していて、ビックリ！！どこまでも田舎の風景が広がるラオス。しかし、どんなに田舎に行っても、インフラがカンボジアより整っていました。カンボジアは自国で電気を発電していません。そのためタイやベトナムから電気を買っています。

カンボジアが自国で発電できるようになるまで…あと何年かかるのでしょうか…。また、ラオスでは一村一品運動が活発で、すごくうらやましい国だと思いました。カンボジアでもその土地ならではのモノがうまく取り上げられ、もっと活性化していくことができたらいいなと感じました。隣の国でも自分の目で確かめることでいろいろなことがわかるのだと改めて感じた旅行になりました。

世界遺産「ワットプー」



托鉢の様子:ルワングラハン県

カンボジア号 NO. 12

2010・10・20

青年海外協力隊:カンボジア派遣

田中真実子(大垣市立安井保育園)

mamikomima@hotmail.co.jp



ラオス麺料理「カオソーイ」

主食もち米「カオニャオ」



## 「仲間の隊員と協力して、情操教育ワークショップ開催」(2010.08.30~2010.09.03 計5日間)

カンボジア北西部のバタンバン州というところで小学校の先生対象の計5日間のワークショップを開催しました。まだカンボジアの教育の中に浸透していない情操科目の必要性を伝えることは難しく、カンボジアの先生たちもその必要性を理解することができていません…。その中でのワークショップ。私たちが行ったことがカンボジアの先生たちの中にどう残ったのか？すごく気になります。今回の私たちが伝えたことが少しでもカンボジアの教育の中で浸透していってくれたら嬉しいです。私は普段から配属先のクロン幼稚園で「運動遊び」に重点を置いて取り組んでいるので、情操科目3科目(音楽・図工・体育)の中で、体育(主に低学年向けの授業)を担当しました。体育の授業の中では、身近にあるものや廃材を使って、教材として取り入れることができる点や、個人競技や団体競技などを取り入れることで競争心や社会性、協調性なども育つ点を伝えました。また、例えば「走る」という授業の中にも、いろいろな走り方(真っすぐに走る、友達と一緒に走る、物を運びながら走る、障害物を乗り越えて走る…など)があるということ伝え、「走る=真っすぐに走る」という概念から、視野が広がるようにしました。



→情操教育ワークショップ続き(体育) ～友達と一緒に体を思いっきり動かそう!!～



—My畑の野菜がすくすくと育っています♪—



きゅうり・かぼちゃ・抜き菜・ホピーイ(カンボジアにしかない野菜)は順調に育ちました。トマトは失敗。来月また挑戦します!!自分で作った野菜はとてもおいしいです。収穫した野菜は自分で食べたり、土地を借りている家族へ差し入れしたり、孤児院へ指導に行く際に持っていったりしています。また、他の野菜も収穫できたら、アップしていこうと思います。お楽しみに!!

収穫した野菜は自分で食べたり、土地を借りている家族へ差し入れしたり、孤児院へ指導に行く際に持っていったりしています。また、他の野菜も収穫できたら、アップしていこうと思います。お楽しみに!!

ひとくちクメール語!!



チュガニユ!!  
「おいしい」

雨季真っ只中のカンボジア。  
浸水する日が何日も続きます…。

クラチェ州 クロン幼稚園 その10



教室の中に入ることができないので、よくない環境ですが、毎日戸外で授業をしています。



\* 私の母校の中学校の生徒のみなさんが協力してくださって寄付品が Cambodia に届きました。子どもたちは毎日、とても楽しく遊んでいます!!ありがとうございます。大切に使います!!



☆お気に入りの一枚☆



カンボジアおもしろいものシリーズ③

「かわいい水がめを発見♡」  
カンボジアでは、雨水を甕に溜める習慣があります。お皿を洗ったり、水浴びをしたりといういろいろなことに使います。そんな水がめでもこんなキュートなものもあるようです!!



10月初めにカンボジアのお盆(ポン・プチュバツ ※ポンという言い方は日本と同じです!!)があり、カンボジア人の友達の故郷へ一緒に連れていってもらいました。このお盆にはカンボジア人はみんな自分の故郷へ帰り、家族や親せきと集まって一緒にごはんを食べたりお寺へお参りに行ったりします。その友達の家は、すごく田舎にあり、道なのかな?という道を進み、州の中心部からモトバイクで1時間半。バナナの畑の中をかきわけ、たどり着きました。水道も電気もない地域で、夜は暗くなったら寝る、朝は明るくなったら起きるという暮らし。さすが時計なんて必要ないなあと思いました。井戸で水を汲んで、庭で牛やにわとりと共に水浴び。戸がない家で蚊帳もなく、蚊にさされましたが、とても貴重な体験をしました。現地の人と触れ合う経験をいっぱいしたいと思います☆